Creative Enzymes®

プロテイン O-GlcNAc トランスフェラーゼ

Cat. No. EXWM-2485

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	高等真核生物において、タンパク質のセリン/スレオニンに□するN-アセチルグルコサミン（O-GlcNAc）の翻訳後修飾は動的で誘導可能かつ豊富であり、タンパク質のリン酸化に干渉することによって多くの細胞プロセスを調節します。EC 2.4.1.255（タンパク質O-GlcNAc転移酵素）は基質タンパク質にGlcNAcを転移し、EC 3.2.1.169（タンパク質O-GlcNAcase）は修飾されたタンパク質からGlcNAcを切断します。
別名	O-GlcNAc転移酵素; OGTase; O-結合N-アセチルグルコサミニルトランスフェラーゼ; ウリジン二リン酸-N-アセチルグルコサミン:ポリペプチドβ-N-アセチルグルコサミニルトランスフェラーゼ; タンパク質O-結合β-N-アセチルグルコサミン転移酵素

製品情報

形態	液体または凍結乾燥粉末
***EC*番号**	EC 2.4.1.255
反□	(1) UDP-N-アセチル-α-D-グルコサミン + [protein]-L-セリン = UDP + [protein]-3-O-(N-アセチル-β-D-グルコサミニル)-L-セリン; (2) UDP-N-アセチル-α-D-グルコサミン + [protein]-L-スレオニン = UDP + [protein]-3-O-(N-アセチル-β-D-グルコサミニル)-L-スレオニン
備考	このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。ご要望に□じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法	短期保存の場合は+4 ℃で保管してください。長期保存の場合は-20 ℃~-80 ℃で保管してください。